

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大安 亀岡新工房	階数	地上2F
建設地	京都府亀岡市	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条区域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,960時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年1月 予定	評価の実施日	2022年2月4日
敷地面積	10,906 m ²	作成者	(株)ハンシン建設
建築面積	3,444 m ²	確認日	2022年3月10日
延床面積	4,309 m ²	確認者	尾城啓二

外観パース等
 図面等が用意される時
 コメントの改善が可能になります

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.5</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p> <p>環境効率</p> <p>環境負荷 L</p>	<p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み 86%</p> <p>③上記+②以外の 86%</p> <p>④上記+ 86%</p> <p>(kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.1

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 0.0	Q2のスコア = 2.7	Q3のスコア = 1.7
音環境: N.A. 温熱環境: N.A. 光・視環境: N.A. 空気質環境: N.A.	機能性: 1.5 耐用性: 3.0 対応性: 4.2	生物環境: 1.0 まちなみ: 2.0 地域性: 2.0

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 3.4	LR2のスコア = 2.4	LR3のスコア = 2.7
建物外皮: 3.8 自然エネ: 3.0 設備システ: 3.4 効率的: N.A.	水資源: 2.2 非再生材の: 2.2 汚染物質: 3.0	地球温暖化: 2.6 地域環境: 2.1 周辺環境: 2.4

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
建物の熱負荷の抑制を図るため、下記仕様とした。 工場部分屋根: 二重葺断熱折板		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
工場用途のため対象外	・空間有効利用のため、階高を高く取り壁長さ比率を下げ積載荷重にゆとりを持たせた	・外構について、可能な限り緑化に努めた
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・照明器具を全てLEDとした。		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃業に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される